

【1】(園の別当入道は)

【中学・塾用ワープロデータ教材】

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

園そのの別当入道べつたうは、さうなき庖丁ほうちやう者なり。ある人のもとにて、いみじき鯉こひを出いだしたりければ、皆人、別当入道の庖丁を見ればやと思へども、たやすくうち出でんもいかがとためらひけるを別当入道べつたうさる人にて、「この程ほど百日ひゃくにちの鯉をきり侍るを、今日欠き侍るべきにあらず、枉まげて申し請うげん」とてきられける、いみじくつきづしく、興ありて人ども思へりけると、或人、北山太政入道きたやま殿だいらいじゆうにかたり申されたりければ、「(a)かやつかの事こと、己おのはよにづるさく覚ゆるなり。『切りぬべき人なくば、給たべ。切らん』と言いひたらんは、なほ(b)よかりなん、何なれ、百日の鯉を切らんぞ」とのたまひたりし、をかくしく覚えしと人の語かたり給たまひける、いとをかし。

(徒然草)

問一 (a)「かやつかの事こと」とは、具体的にどのようなことか。最も適当なものを次のア～エから一つ選べ。

ア 別当入道の庖丁べつたうさばきを見たいが、言い出すのをためらったこと

イ 鯉を料理するのに、一日でも欠かせないと理由をつけて料理したこと

ウ 料理の名人のすばらしい庖丁べつたうさばきを、ぜひ見たいものだと思つたこと

エ 理由づけをして料理したのが、その場にふさわしいと思つたこと

問二 (b)「よかりなん」の現代語訳として、最も適当なものはどれか。次のア～エから一つ選べ。

ア よいとは限らないだろう

ウ よくないだろう

イ よくないに違いない

エ よいに違いない

問三 筆者の述べようとしたのはどのついでか。最も適当なものを次のア～エから一つ選べ。

ア 物事には、率直に対応するのが自然である。

イ 物事には、楽しそうに対応するのが和やかだ。

ウ 物事には、遠慮がちに対応するのが奥ゆかしい。

エ 物事には、一くふうして対応するのがおもしろい。

(京都)

「解答」

問一 イ

問二 エ

問三 ア